



新たなアンモニア専用船の起用について

 三菱ガス化学株式会社

2015年9月2日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨）は、本年7月末の新潟工場における液化アンモニアの生産終了に伴い、8月より新たなアンモニア専用船を起用し、アンモニアの調達体制を強化致しました。

新造船「国周丸」は関連会社である国華産業株式会社が建造し、当社の液化アンモニア調達のために運航します。現在は内航船として運航を開始しておりますが、将来的には外航船としての運航も可能です。



・船名	国周丸	・全長	69.50 m
・総トン数 (G/T)	999 トン	・全幅	12.20 m
・アンモニア積載重量	1,000 トン	・深さ	5.44 m

なお、「国周丸」という名前は、1964年に当社の前身である日本瓦斯化学工業株式会社が運航した日本初の液化アンモニア専用船の船名を受け継ぐもので、日本国中を周ってアンモニアを輸送するという意味が込められています。

「国周丸」および従来から運航しているアンモニア専用船「翔栄丸」の2船体制により、当社はアンモニアを国内外から安定的かつ安価に調達し、アンモニア及びその誘導品事業の強化・拡大を図ります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
広報IR 部 TEL：03-3283-5041